

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6(5)	身体拘束をしないケアの実践 個人個人での認識の為、ばらつきがある。 全職員対象の研修が行われていない。 身体拘束に対してのマニュアルがない。	全員が同じ理解で、身体拘束について理解する。 外部講師による研修を行い、全員参加を目標とする。	今まで通りミーティングで話し合う。 定期的に外部からの講師を呼び、研修を行う。 身体拘束に対してのマニュアルを作成する。	6ヶ月
2	26(10)	チームで作る介護計画とモニタリングについて 本人の為の介護計画というよりは、本人と家族との妥協案になってしまっている。	利用者様の目標、ご家族様からの要望に対しての目標を明確にする。	月1回のフロアミーティングで、利用者様の状況を把握し明確な目標を立てる。ご家族様とのコミュニケーションを取り、ご家族様にも納得していただけるプランを作る。	3ヶ月
3	35(13)	災害対策について 当施設が避難場所となる可能性は高いが、具体的な取り組みがない。	民生委員や子供会などにも呼びかけ、当施設が避難場所として可能であることを周知する。	民生委員、包括、自治会、子供会への呼びかけ。消防署の職員による防災訓練の実施。その際は、地域の方にも参加していただけるよう呼びかける。施設での水や備蓄品の確保。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。